

# 「犬山グルメ」新メニューを開発

## 犬山商工会議所青年部とのコラボ企画

犬山商工会議所青年部から依頼を受け、地域連携の一環として管理栄養学科の2年生が石上げ祭をテーマに新メニューの開発を行うことになりました。石上げ祭の由来やメニューにかける思いを聞き、学生たちは絵コンテでプレゼン検討会を経て、9月初旬に試作品を3品提案。味、見た目、調理工程など、さまざまな視点からメンバー全員で熱心に話し合い、9月19日(火)の試食会で「石上げピラフー」に決定しました。いろいろな意見を活かすために学生が苦心する場面もありましたが、完成した料理を試食しながら全員が素敵な笑顔になることができました。(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 倉橋伸子)



犬山市産業振興祭で「石上げピラフー」を販売  
味も、見た目も、大好評!!

### VOICE 「石上げピラフー」の開発に関わって

犬山市の商工会議所青年部の方々と約1ヶ月間試行錯誤をしながら、「石上げピラフー」の開発を行いました。石上げ祭をモチーフにメニューを考案することがテーマでしたので、お祭りのイメージをどう表現するか、料理が冷めてもおいしく食べてもらうにはどうしたらよいかなど、苦労もありました。しかし、自分たちが考えた料理が商品になる大変良い機会になりました。

人間生活科学部 管理栄養学科2年 出原沙織さん  
誠信高等学校(愛知県)出身



「試食会」を終え犬山市長の山田拓郎氏と一緒に  
写真に収まる「メニュー開発メンバー」

# 「犬山市スポーツ賞」表彰式

## 男子バスケットボール部・剣道部(男子)受賞

5月27日(土)、犬山国際観光センターフロイデにおいて「平成28年度 犬山市スポーツ賞」の表彰式が執り行われました。本学からは、「第68回 全日本大学バスケットボール選手権大会」第6位、「第92回 天皇杯全日本バスケットボール選手権大会」に出場した男子バスケットボール部と、「第64回 全日本学生剣道優勝大会」に出場した剣道部(男子)が共に「優秀賞」を受賞し、犬山市長の山田拓郎氏より表彰状と記念のメダルを受け取りました。



記念の撮影に収まる男子バスケットボール部メンバー(剣道部は大会出場のため欠席)

## 2018年度入試日程

※選考方法については、「2018年度入学試験要項」にてご確認ください。

■大学 経済学部、経営学部、法学部、人間生活科学部(教育保育学科・管理栄養学科)

入試区分		出願期間(消印有効)		試験日	合格発表日	
AO	Ⅳ期	2017年12月12日(火)~2018年1月12日(金)		1月20日(土)	1月26日(金)	
入試区分		出願期間(消印有効)		試験日	合格発表日	
一般入試	前期A日程	2018年1月4日(木)~1月12日(金)		1月20日(土)・21日(日)	1月26日(金)	
入試区分		出願期間(消印有効)		試験日	審査結果発表日	合格発表日
プラチナ奨学生選抜		2017年11月14日(火)~12月8日(金)		12月17日(日)	12月22日(金)	1月26日(金)

※その他、AO入試(V~Ⅶ期)、一般推薦(後期)、一般入試前期(B日程)・中期・後期、センター利用入試も実施します。

■大学院 法学研究科/法学専攻(修士課程)・企業法学専攻(博士後期課程)、会計学研究科/会計学専攻(博士前期課程)・(博士後期課程)  
人間生活科学研究科/幼児保育学専攻(修士課程)・栄養管理学専攻(修士課程)

研究科	専攻	課程	入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
法学	法学・企業法学	修士・博士後期	Ⅱ期	2018年1月9日(火)~1月17日(水)	2月11日(日)	2月16日(金)
会計学	会計学	博士前期・博士後期				
人間生活科学	幼児保育学・栄養管理学	修士	Ⅲ期	2017年1月9日(火)~1月18日(木)	2月4日(日)	2月9日(金)

※上記各研究科・専攻の入試には、推薦、一般、社会人、外国人留学生の入試区分があります。

## 学校法人市邨学園教育研究充実寄附金のお願いについて

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、111年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。

趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただける場合、またご不明な点などありましたら、右記までご連絡いただけますよう、よろしく願いいたします。なお、本法人は、特定公益増進法人の認定に加え、税額控

除対象法人の認定を受けました。これにより、個人の方が本学へご寄附いただけますと、以前より多くの所得税の控除を受けることも可能となります。

寄附金に関する照会・連絡先

学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当)  
TEL 052-853-0047(代表)

# MEIKEI

あなたのご意見をお聞かせください

「名経大通信」Vol.56について、ご意見や感想などございましたら、入試広報部(右記連絡先)までお聞かせください。

# MEIKEI

名経大通信 Vol.56  
2017.11.27  
名古屋経済大学  
名古屋経済大学短期大学部



MEIKEI 名経大通信 Vol.56

平成29年11月27日発行 名古屋経済大学・短期大学部 〒484-8504 愛知県犬山市内久保6-1-1 TEL 0568-67-0511(代) http://www.naeyo-a-ku.ac.jp/

入試広報部 TEL 0568-67-0624 FAX 0568-69-2700  
●本誌掲載の応募・写真・イラストなどの著作権・複製・転載を禁じます。

# 名経祭 & わいわい犬山フェスティバル

## MEIKEI Festival Hot News

10月14日(土)・15日(日)、犬山キャンパスでは、「第15回 名経祭」が開催されました。曇りから小雨と、あいにくのお天気ではありましたが、元気な学生の声が響きお祭りムード満載!! 附属幼稚園の年長組さんによる「ロック・ソーラン踊りと竹太鼓」を皮切りに、ステージではパフォーマンスコンテストが開幕。オイシイ! 楽しい! 模擬店も勢ぞろい。後夜祭の手筒花火&打ち上げ花火まで、大いに盛り上がった2日間でした。

元気いっぱいの  
鳴子踊り笑のステージ  
大人も子どもも  
汗かいて!

熱い風とともに  
沖縄のソウルフード“沖縄そば”召し上がれ!



1 沖縄県人会が作る本場の「沖縄そば」  
2 プリツと美味しい「焼き鳥」  
3 「チヂミ」ナイスな返しを披露  
4 タレ・七味マヨ・塩の3種の味「イカ焼き」  
5 「地ビール」いろいろ  
6 アジアンなパッケージ「インスタントカップ麺」



“イカ焼き”で  
売上げNo.1を  
目指すぞ!



みんな陽気に  
地ビールでカンバイ!

アジアの味をお届け!

## “Incomplete Control” ~自遊自在~

お父さん・お母さんの声援に応え  
ピカピカのステージ



7 附属幼稚園の園児は竹太鼓で元気いっぱい  
8 かみこつぶがへんしん!  
9 チーム保育科「エビカニクス」で踊っちゃお!



“エビカニクス”  
戸幼稚園・保育園で...大人気!!



明かりを消すと  
そこはまるで  
海の中!!



10 「どろぼうがっこう」何を盗んできたのかな?  
11 「にじいろのさかな」きれいだね  
12 ステージを華麗に彩る「ファッションショー」



大きな窓も6面も使った  
色鮮やかな“スタンドグラス”



創作エッセイ  
“マチカヅ”参上!

力強い太鼓の音が  
夜空に響く!



音楽と花火の競演  
ミュージックスターマイン

迫力満点!  
毎年恒例の  
手筒花火!!



鳴子踊りチーム笑の躍動の舞!!

## わいわい犬山フェスティバル

10月14日(土)・15日(日)に同時開催された名経祭と「わいわい犬山フェスティバル(犬山市産業振興祭)」。今年も南部公民館で経済学部学生研究室 地域政策チームが「楽田小学校安全安心マップ」で、地域情報の見える化とその活用方法を中心に日頃の活動を紹介しました。15日には管理栄養学科 倉橋ゼミと犬山商工会議所青年部のコラボで誕生した「石上げピラフー」の販売を行い、大好評でした。

管理栄養学科 倉橋ゼミ



「石上げピラフー」完成!



経済学部学生研究室 地域政策チーム

## VOICE 多くの人に活動内容を伝えたい

今年は、あいにくの天気で前年度より人が少ないと感じました。その分、来場された方々に「楽田小学校安全安心マップ」についてより詳しく説明ができました。また、自分たちの活動内容を地域住民の方々に直接説明することができ、貴重な良い時間となりました。今後も多くの方に自分たちの活動内容を伝えていきたいと思ひます。

●経済学部学生研究室 地域政策チーム  
経済学部2年 村瀬健太さん

「名鉄沿線ハイキング」  
魅せよう犬山 つなごう人と!



ようこそ「名経祭」へ  
名経祭と犬山市産業振興祭がハイキングコースに!  
大勢の方にお立ち寄りいただきました。

## MEIKEI Festival Hot Interview 名経祭で聞いちゃった!



矢野ゼミのPR隊  
“おニャン子”に遭遇



可愛い“手作り体験”も人気!

### VOICE 1 模擬店で見つけた

#### オリジナルユニフォームで 目立ってたdeしよう!

模擬店の商品は、和風でヘルシー!な「おとうふだんご」まずはユニフォームからと、それぞれが手作りすることに…縫い目は不揃いですが和風でおしゃれな、世界に一つだけの素敵なユニフォームに仕上がりが大満足です。

おとうふだんご「もっちり茶屋」●光松ゼミ  
●人間生活科学部 教育保育学科 3年 中川郁哉さん (中央)



### VOICE 2 ステージで見つけた

#### パフォーマンスコンテスト 出場の手応えは? Champion

2016年4月、管理栄養学科の仲間6人で結成したアカベラグループ“あなざーらいふ”。昨年のパフォーマンスコンテストで初代チャンピオンに輝き、今年は学生生活最後の「大学祭」を優勝で飾れるよう、練習も重ねてきました。

今回も最高のステージをお届けでき、皆さんの投票で2連覇を達成! “ありがとう”

アカベラグループ“あなざーらいふ”  
●人間生活科学部 管理栄養学科4年 上野竜樹さん (右から2番目)



「優勝!」の喜びを表現するメンバー



ステージ音響機材の運搬・設営のために動く「名経祭」スタッフ

### VOICE 3 “キャンパス”で見つけた

#### 名経祭を影で支えた 名経祭実行委員からメッセージ!!

今年は、体験型プロジェクト「名経祭の企画・運営」の受講者と一緒に名経祭を運営しました。日本人学生だけでなく留学生とも手を取り合い、多くの人と学祭を作り上げていくのはとても楽しく、また新たな発見もあり、これまでとは異なる

イベントになりました。教職員や地域の方々とも連携して運営することができた今回の経験を生かして、来年以降も名経祭を次の世代に引き継いでいって欲しいと思います。

名経祭実行委員長 ●法学部4年 水野楓也さん

体験型プロジェクトとのタッグで  
新しいカタチの名経祭がスタート!

### VOICE 4 “3号館の3階”で見つけた

#### 「ニンジャ屋敷」をPR!

ニンジャの忍術を体験できる「ニンジャ屋敷」を企画。PR隊長として手裏剣を手に、ジャージやトレーナーを使ってニンジャに変身!子どもたちに「あっ、ニンジャがいる!」と声をかけられ思わずニンマリ。屋敷の中には、からくり扉や水の上を歩く“みずぐもの術”などニンジャ体験コーナーが完成。子どもたちが楽しそうに遊ぶ姿を見ることができ、とても嬉しくなりました。

「ニンジャ屋敷」PR隊長  
●人間生活科学部 教育保育学科3年 手塚啓介さん



### VOICE 5 “絵本ライブラリー”で見つけた

#### 演技力でキラリ!とヒカル



「どろぼうがっこう」の一場面「どろぼうさん、つかまっちゃった!」

『にじいろのさかな』と『どろぼうがっこう』の2冊の絵本を題材に劇を上演。春頃から企画を練って準備してきました。短大最後の大学祭に気負いもありましたが、子どもたちの楽しそうな笑顔に出会い、幸せな時間を手にできたことで今までの苦労も吹っ飛んでしまいました。

きつぱはれっと“シアター”●堀ゼミ  
●短期大学部 保育科2年 古村有里恵さん(上段左写真、左から2番目)

わー!?  
おまわりさんだ!

## 幼稚園と連携

### 大学と連携して行う「食育活動&農業体験」

#### タケノコ掘りとサツマイモの苗植えから収穫

子どもたちに大地の恵みを肌で感じてほしいと、恒例の「タケノコ掘り」を4月27日(木)、幼稚園の竹林で行いました。園児たちは、大きく育ったタケノコを小さなスコップを使って一生懸命掘り出しました。翌日は管理栄養学科の先生方に「味噌汁」を作っていただき、美味しくいただきました。

さらに5月10日(水)は、幼稚園の畑で「サツマイモの苗植え」を、11月1日(水)には「サツマイモ掘り」を行いました。管理栄養学科の先生、学生さん、大口町のボランティアの皆さんに教えてもらいながら、頑張りました。収穫したサツマイモは翌週の給食に「大学イモ」として登場しました。また、12月7日(木)には「給食見学会」を実施する予定です。これは給食調理の様子を見学することで食への関心を持たせ、食の楽しさを伝える取り組みとして行われています。(名古屋経済大学附属市部幼稚園 園長 鈴木文雄)

### VOICE 「命をいただく」その意味を伝えたい

大口町のボランティアの皆さんと先生に支えていただきながら、園児と一緒にサツマイモの苗植えから収穫までを体験しました。子どもたちに自分たちで収穫し「命をいただく」意味を伝え、食材そのものにも興味を持っておいしく食べてもらえたら「大学イモ」の調理にも楽しく取り組みました。私は幼稚園の栄養士になることが目標なので、今は知識を深め、さまざまな経験を重ねたいと思っています。

人間生活科学部 管理栄養学科4年 渡邊このみさん  
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



「タケノコの味噌汁」ごちそうさまでした



によきよき、タケノコ  
大きく育て、  
みんなでたくさん  
収穫できたよ!



わたしのサツマイモが  
1番かな?



苗を植えたよ  
おおきなサツマイモが  
いっぱい! いっぱい!  
育ちますように。



園長先生、みて!みて!  
こんなにとれたあ〜



### 教育保育研究会の「子育て講座」

#### 子育てを振り返り、集中して学ぶ場を提供

7月18日(火)・9月11日(月)・20日(水)の3回にわたり「子どもの気持ちに寄り添ってどうすればいいの?」というテーマで子育て講座を行いました。さまざまな親子の様子(DVD)を見てグループワークを行う形式で、日頃は気づかない子どもの気持ちがわかり、「みんな子育てを頑張っているんだと気づいた」との感想がありました。小さなお子さん連れの方のために、学生や卒業生も託児を一生懸命頑張ってくれました!

(人間生活科学部 教育保育学科教授)  
多川則子



### VOICE 託児の難しさを実感しました

初めて乳児を預かってみると、授業で習ったことを活用する余裕もなく、乳児の泣く姿に慌ててしまい、とりあえず抱き上げてあやしていました。好きなおもちゃで遊びに誘うと泣き止む子もいれば、まったく泣き止まない子もいて、託児の難しさを実感しました。知識も大切ですが、実際に体験して初めてわかることも多く、今回の反省を後につなげていきたいと思いました。

人間生活科学部 教育保育学科3年 山田翔太さん  
愛知県立守山高等学校出身

青塚古墳で「楽田夏まつり」

2年目を迎え、ますます充実した活動へ

8月5日(土)、楽田地区コミュニティ推進協議会主催の夏まつりに「名経大ブース」を開設し、昨年に引き続き、児童文化サークル「いろは」として参加しました。「いろは」は、地域や子ども向けの活動・イベントに積極的に参加をする、教育保育学科の学生を主体とした文化活動サークルです。発足して2年目、本学地域連携センターと協力して活動のフィールドを広げ、今では学生たちが準備・計画・実行まですべてを取り仕切るようになりました。夏まつりへの参加も、地域の方々から大変好評をいただいています。

今後も、皆さんに親しまれる活動を広げていきたいと考えています。  
(児童文化サークル「いろは」副顧問 人間生活学部 教育保育学科准教授 塚本敏浩)



発足2年目  
活動内容も充実し  
余裕の笑顔をみせる  
メンバー!

VOICE 地域の方々との交流し、次の活動へ!

楽田夏まつりに、児童文化サークル「いろは」として2回目の参加をしました。多くの子どもたちが遊びに来てくれて、とても嬉しかったです。また、誠信高校の関係者の方から次の活動の依頼をいただき、10月29日(日)に犬山フロイデのイベントにも参加することができました。地域の方々にも「いろは」に親しみを持っていただき、とても嬉しく思いました。

今後もさまざまな地域の方々との交流を図ってまいります。

●児童文化サークル「いろは」  
人間生活学部 教育保育学科3年 宮田祐希さん  
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



VOICE 誰でも作って遊べる遊びを

初めはどれくらいの数の子どもたちが来てくれるのか、とてもワクワクドキドキしていました。当日になると幼稚園児や小学生の子どもたちがたくさん訪れてくれて、楽しそうに遊ぶ姿を見て安心し、大変うれしく思いました。私たちは「射的」と「射的」をしました。「射的」の鉄砲

は、割り箸と輪ゴムで作ったものなので、幼稚園児でも安全に遊ぶことができると思います。これからも簡単に遊べる遊びを提供していきたいと思っています。

●児童文化サークル「いろは」  
人間生活学部 教育保育学科1年 酒井菜々美さん  
富山県立南砺福野高等学校出身

行列ができるほど大好評!

やまんば  
電子紙芝居「山姥物語」の制作に参加

新しい試みにも積極的に挑戦!

「いろは」は、地域の子どもの向けイベントで活動を行ってききましたが、今回の電子紙芝居は学生たちにとって新しい試みでした。「山姥物語」は伝承話の電子画像を1枚1枚、動画編集ソフトを使ってつなぎ合わせ、編集し、アフレコで学生たちがナレーションを入れていくもの。初めは技術的に難しく、夜中まで制作をする経験もしました。しかし、完成した時には今までにない達成感を得られたようです。新しい試みに挑戦し、活動の幅を広げた「いろは」の活躍にこれからどうぞご期待ください! (塚本)



一語一句を大切に「音入れ」をするメンバー



「山姥物語」の一場面

VOICE 大きな達成感のある活動でした!

今回取り組んだ電子紙芝居は、地域の「楽田歴史文化を守る会」の方々と一緒に作成しました。電子紙芝居はパソコンを使ったデジタル化された絵による紙芝居なので、新鮮でした。技術的に難しく、大変なことも多くありましたが、完成した時には達成感を得ることができました。この活動を通して、地域の伝承話を知ることができ、大変勉強になりました。また地域の方との交流も深めることができ、やりがいのある活動でした。

●児童文化サークル「いろは」  
人間生活学部 教育保育学科3年 石川奈津美さん(右から2番目)  
愛知県立岡崎高等学校出身



強化指定クラブ シーズン結果



男子  
バスケット  
ボール部

東海学生 1部リーグ 4位!



ラグビー  
部

東海学生2部リーグ4勝1敗  
得失点差で3位  
惜しくも1部リーグ昇格を逃す



硬式  
テニス部

東海リーグ参戦1年目で昇格!  
男子 6部リーグ  
女子 5部リーグへ  
東海学生個人戦  
シングルス ベスト16  
ダブルス ベスト8



女子  
バスケット  
ボール部

強化指定2年目の快挙!

東海学生  
1部リーグに昇格!



男子  
サッカー  
部

東海学生  
1部リーグで活躍中!



女子  
サッカー  
部

愛知県 1部リーグ  
前期首位!後期リーグで  
優勝を目指します!



硬式  
野球部

愛知学生2部リーグ  
最下位となり  
入替戦に敗れ3部降格  
来季の2部再昇格を目指す



剣道部

男子団体 全日本学生剣道  
優勝大会 出場  
女子団体 東海学生剣道  
優勝大会 ベスト16

## オープンキャンパス「夏期保育を体験しよう！」

### 人間生活科学部 教育保育学科の「学び」と「成長」の姿

教育保育学科では、例年8月のオープンキャンパスに「夏期保育を体験しよう！」と、キャンパス内にある附属市邨幼稚園において学生による保育実践を行っています。実践を行う1・2年生の学生たちはまだ、プロの幼稚園の先生方のようにたやすく子どもたちの前に立てるわけではありません。そのため、学生たちは子どもたちの発達段階に合わせた遊びや活動を考えながら、1ヶ月以上前から数え切れないほどの検討と準備を重ねてきました。

その結果、当日は幼稚園の子どもたちのあふれんばかりの笑顔を見ることができ、大成功を収めることができました。また、多くの高校生にも参加していただきました。

こうした活動を通して、先輩後輩の絆を深め、大いに「学び」、子どもたち同様、学生たちも「成長」することができたと思います。

(人間生活科学部 教育保育学科准教授 塚本敏浩)

すきなおさを  
はって、どんな  
うちわがでてるかな？



年少クラス「おゆうぎ」ががんばりました



年長クラス「わくわくゲーム」を見守る永田さん(左)

#### VOICE 一人ひとりの個性を大切に

今回の夏期保育では、年長組を担当しました。当日は園児たちが楽しめるゲームをみんなで考え、幼稚園の先生方からさまざまなアドバイスをいただきながらゲームを制作していきました。その過程で感じたことは、一人ひとりの個性や考え方が集まるからこそ「素敵なもの」ができるということです。アイデアは一人でも考えられますが、仲間がいればもっと広がります。私一人では経験できないことをたくさん経験できた、大変貴重な夏期保育でした。

人間生活科学部 教育保育学科2年 早川舞華さん  
愛知県立尾北高等学校出身

#### VOICE 成長の場

私は最初、夏期保育を楽観的に考えていました。しかし、「この遊びは本当に子どもたちの成長に合っているか？」など、何度も考え、改善し、時間をかけて授業を作り上げるものだと知りました。

当日、私は緊張していましたが、先輩から「自信を持って楽しもう！」と声をかけていただき、子どもたちに会った時には緊張せずに楽しむことができました。普段子どもたちと関わる経験が少ない私にとって、とても良い経験になりました。

人間生活科学部 教育保育学科1年 永田のかさん  
クラーク記念国際高等学校出身

## 名古屋市消費生活フェア2017

### 「お金に関するネットリテラシー」デジタルクイズで啓発

経済学部学生研究室では、今年も名古屋市の「大学への消費者市民社会普及啓発事業」から助成金をいただき、ネットショッピングやクレジットカードの利用に関連したトラブルなどについて調査をしてきました。その成果をまとめ、iPadを利用した「デジタルクイズ」として仕上げ、11月4日(土)、名古屋市消費生活フェアに出展しました。

急速に普及してきた便利なネットショッピングですが、「悪質な業者にだまされた」といった被害も増加中です。デジタルクイズを通じて、一般の方への啓発に貢献できました。

(経済学部准教授 佐野八重)



「デジタルクイズ」は女子高生にも大好評!



iPadを利用したクイズで盛り上がる「経済学部学生研究室地域政策チーム」のブース

## 実習レポート

### 子どもたちの成長と関わり

私は今回の幼稚園実習で、3歳児のクラスを担当しました。同じ3歳児でも生まれた月齢によって、「わかること」や「できること」に大きな差があり、最初は戸惑いました。しかし、何日か子どもたちと一緒に過ごすうちに、自分でできることはできるだけ自分でさせるようにし、一人で行うには難しいことは援助をするなど、一人ひとりに合った関わり方を自分なりに考えて、接することができるようになりました。

次の実習ではまた同じクラスに入る予定なので、子どもたちがどのくらい成長しているか、今からとても楽しみです。

【第二富士幼稚園(名古屋市守山区)】  
人間生活科学部 教育保育学科2年 伊藤ひよりさん  
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



幼稚園教諭 教育実習

### 施設実習を終えて

私は児童養護施設で10日間の実習を行いました。初日は「子どもたちとうまく関わりを持てるだろうか?」という不安がありました。しかし、子どもたちや職員の方々のおかげで、とても楽しく充実した毎日を過ごし、あっという間に10日間が過ぎていきました。同時に施設実習を通して、掃除や洗濯、炊事などをこなしながら子どもと関わることの大変さを知り、職員の方々から多くのことを学びました。短い期間でしたが、今回の施設実習を通して、将来、保育所で働く際に活かすことのできる貴重な経験を積むことができました。

【豊橋若草育成園(豊橋市)】  
人間生活科学部 教育保育学科3年 佐々木亮介さん  
東海学園高等学校(愛知県)出身



保育士 施設実習

### 子どもたちと一緒に授業を作っていく

実習に行く前は、本当に私に授業ができるのか不安でした。しかし、実習が始まるとすぐに子どもたちの方から話しかけてくれたり、授業に積極的に参加してくれたりと、私自身も楽しんで実習を行うことができました。

今回一番感じたことは、心配しなくても子どもたちが助けてくれるということです。もちろん、指導案や教材の作成など事前にしっかりと準備しておくことは大切ですが、少くも失敗しても子どもたちの方から救いの手を差し伸べてくれます。上手にやろうと必死になるよりも、貴重な時間を楽しんで、子どもたちと一緒に授業を作っていくことが大切だと感じました。

【春日井市立不二小学校(春日井市)】  
人間生活科学部 管理栄養学科4年 伊藤のぞみさん  
愛知県立春日井商業高等学校出身



栄養教諭 教育実習

### 一人ひとりの子どもに合わせた保育を

特別な支援が必要な子どもとの関わりについて知識や保育技術を深めたいと思っていた私は、統合保育を実施している保育所で4歳児クラスの実習に参加しました。クラスでは、子どもたち同士が協力し合いながら遊ぶ姿が観察できる一方、支援が必要な子どもは自分のペースで遊びに取り組みため、他の子が受け入れられず衝突が起こる場面もありました。保育者の方はさまざまな言葉で声かけをし、子どもたちを見守っていました。

今回の実習では、子どもたちに合わせた保育のあり方を学ぶことができ、とても感謝しています。

【宮西保育園(名古屋市熱田区)】  
人間生活科学部 教育保育学科3年 我妻まゆさん  
愛知県立惟信高等学校出身



保育所実習

### 4週間の教育実習を終えて学んだこと

今回、4週間にわたる教育実習に参加し、とても充実した日々を過ごすことができました。何より自分が授業を行う立場になってみると、授業を行う大変さや楽しさを実感することができ、とても勉強になりました。そして、私の授業を受けてくれた子どもたちが、「楽しかったよ」「わかりやすかった」と声をかけてくれたことが何よりも嬉しく、やりがいを感じました。また、先生方からもさまざまなアドバイスをいただき、勉強になることがたくさんありました。私にとって教育実習はとても大切な宝物になりました。

【名古屋市立貴船小学校(名古屋市名東区)】  
人間生活科学部 教育保育学科4年 江原歩美さん  
名古屋市立緑高等学校出身



小学校教諭 教育実習

### 地元・長野県松本での臨地実習3週間

夏休みを利用して地元・長野県松本市で3週間の臨地実習に参加し、現場で多くのことを学ぶことができました。実家から実習先の病院に通うことで、食事作りをはじめ両親のありがたさを感じ、集中して実習に取り組むことができました。病院では栄養食事指導・NST・カンファレンス・治療食調理など、実践的な体験をさせていただき、新たな気づきの毎日でした。必要な知識を今後も習得していけるよう、残りの学生生活を大切にしていきたいと思います。複数回にわたり事前指導をくださった先生、実習先の先生方、両親にも感謝しています。

【医療法人中働労働者医療協会 松本協立病院】  
【独立行政法人国立病院機構 まつもと医療センター松本病院】  
人間生活科学部 管理栄養学科3年 北原知弥さん  
松本第一高等学校(長野県)出身



病院臨地実習

## 就職内定者報告

### 就職活動に集中することの大切さ

私が就職活動をする上で大切にしたのは、いかに就職活動に集中できる環境を作るかということです。4年生の時、履修をゼミのみにし、就職活動の時間を確保できるようにしました。アルバイトを続けながら就職活動をする人もいますが、私は地元の浜松で就職するため、現地に通って就職活動をしたいと考え、アルバイトも辞めることにしました。その結果、時間を有効に使うことができ、第一志望から内定をいただくことができました。また、キャリアセンターに通ってアドバイスをいただき、就職活動に役立てました。先生方には本当に感謝しています。

●とびあ浜松農業協同組合  
経済学部4年 伊熊駿介さん  
静岡県立浜松商業高等学校出身



### 早めの準備で自信をつけた

私は入学当時から警察官という職業を視野に入れて着々と勉強を進めてきたため、試験当日には自信を持って採用試験に取り組むことができました。試験に臨むにあたっては、苦手科目よりも得意科目に重点を置き、得意科目を伸ばすように努力をしました。その結果、無事に採用試験に合格することができました。合格することができたのは、ご指導いただいた大学の先生方をはじめ両親や先輩、多くの友人たちが支えてくれたからこそだと思います。この春からは立派な警察官になれるよう、より一層の努力をしています。

●愛知県警察本部  
法学部4年 桑原大輔さん  
星城高等学校(愛知県)出身



### 100%の自分で

私は、管理栄養士として病院で働きたいと日々思っていました。しかし、就職活動を始めてみると病院の管理栄養士職の募集は思ったよりも少なく、試験を受ける人は多いことがわかりました。病院の管理栄養士の募集は夏から始まりましたが、それまでに他業界の企業も受けていたおかげで「100%の自分」で試験に臨むことができ、希望する病院から管理栄養士の内定をいただくことができました。自分らしさを大切に背伸びをしないこと。そして日頃の行いが「100%の自分」を出せることにつながるのだと、就職活動を通して学ぶことができました。

●下伊那厚生病院  
人間生活科学部 管理栄養学科4年 寺澤成都さん  
長野県下伊那農業高等学校出身



### 声をかけていただいたことに感謝

学内会社説明会でどこかを回るか悩んでいた時、キャリアセンターの方に「説明を聞いただけ聞いてみたら」と声をかけていただき、生命保険会社の説明を聞きました。そこから選考が進み、多くの先輩社員や採用担当の方と関わり、「先輩方の優しさや温かさにあふれるこの会社で働きたい」と強く思うようになりました。実際に働いている先輩方と話をすることで、自分が働きたい環境を見つけ出すことができました。きっかけをくださったキャリアセンターの方や会社の方への感謝の気持ちを忘れず、これからは必要な資格の勉学に励みたいと思います。

●日本生命保険相互会社  
経営学部4年 大口琴乃さん  
愛知県立古知野高等学校出身



### 父のような警察官になりたい

入学当初から公務員になりたいと思っていた私は、公務員養成の授業や講座を受講し、なるべく時間を作って勉強をするように努力してきました。私の父は現職の警察官として働いているため、警察官の仕事に身近に感じることが多く、私も岐阜県警察を受験することに決めました。その後、講座の先生や大学の先生方からのサポートのおかげで、無事に警察官採用試験に合格することができました。これからは教育保育学科で4年間勉強してきた専門的知識を活かし、子どもや女性に優しく寄り添い、父のように誰からも頼りにされる警察官になりたいと思っています。

●岐阜県警察本部  
人間生活科学部 教育保育学科4年 渡邊詩乃さん  
岐阜県立長良高等学校出身



### キャリアセンターのアドバイスに感謝

最初、私は就職活動をどう進めていけばいいかわからず、キャリアセンターの先生方に相談し、「入社後に何を目標に取り組んでいきたいのかを明確にするといい」とアドバイスをいただきました。そこで、ピックアップした企業を細かく調べ、本当に働きたい企業を絞りこみました。その後も毎日のようにキャリアセンターで履歴書の添削、面接やグループディスカッションの指導を受け、おかげで第一志望の企業から内定をいただくことができました。今後も不安を抱えることがあると思いますが、常に目標を持ちながら自分らしく成長していきたいです。

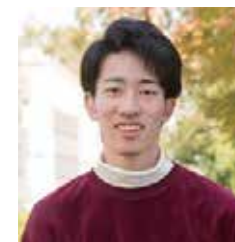
●株式会社たねや  
人間生活科学部 管理栄養学科4年 小川静香さん  
滋賀県立長浜高等学校出身



### 今の自分に自信をもって就職活動を

就職活動で一番大切なのは「自信」だと思います。私は、今の自分に「自信」を持ち、自分の強みや過去の経験を堂々と相手に伝えることで内定を得ることができました。インターンシップでの経験や日々の出来事の中で、自分にできることを自覚し、アピールすることが大切だと思います。また、自分一人で就職活動をするのではなく、たくさんの方々にアドバイスをいただきながら就職活動をすることで、一人では見えないところも見えてきます。協力してくださった先生方や友人に感謝し、日々精進していきたいと思っています。

●刈谷市役所  
経営学部4年 井上航輔さん  
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



### 今できることを見つける

保育実習と並行して就職活動を行っていた私は、精神的な余裕も時間もあまりありませんでした。しかし、キャリアセンターの方のアドバイスを受け、履歴書の添削をしていただくことで、今できることを見つけて就職活動に取り組むことが大切だと、気持ちを切り替えることができました。その結果、採用試験の当日は笑顔を忘れずに、落ち着いて試験に臨むことができました。

多くの先生方からも応援していただいたおかげで、第一希望の幼稚園に合格でき、とても嬉しく思っています。

●学校法人光明学園 光明幼稚園  
短期大学部 保育科2年 小椋佳苗さん  
愛知県立犬山南高等学校出身



## インターンシップレポート

### 食べ物に対する考え方が変わった6日間

農業インターンシップを終えての感想は、さまざまな体験ができて楽しかったことです。トマト農家の方や研修生の方が温かく迎えてくださり、親切に作業の仕方を教えてくれました。野菜が出荷されるまでには多くの作業があり手間もかかるなど、トマトに関する経営や流通についてより深く知ることができ、とても勉強になりました。

インターンシップ終了後は、どんな食べ物でも農家の方の大変な苦労があると思うようになり、農業の知識や経験だけではなく、異文化を知るとても大切な学びができました。

●ぎぶアグリインターンシップ  
(岐阜県農政部農業経営課主催)  
経営学部2年 グエン・ティ・カ・リンさん  
ベトナム人留学生



「トマトの選別作業」(右端)

### 先生方のおかげで就職が決まりました

就活に関するアドバイスをもらうため大学の講座に参加し、自己分析の仕方や履歴書の書き方、面接でのアピールの仕方を学びました。2・3年生の時には、3つの企業でインターンシップを体験、企業見学にも積極的に参加しました。外国人留学生として日本での就職活動は大変でしたが、先生方のサポートのおかげで最後まで頑張ることができ、無事に内定をいただくことができました。就職後は、大学で学んだ経営やビジネスの知識を活かしながら自分自身を成長させ、社会に貢献できる仕事がしたいと思っています。

●株式会社マリノ  
経営学部4年 グエン・ヴァン・ターンさん  
ベトナム人留学生



### 自分の実力を上げ、試験に合格

幼稚園の試験は、筆記とピアノと後日面接でした。筆記は一般知識と専門知識があったため、幼稚園教諭試験の対策本を買って問題を解くなど、前日まで勉強をしました。ピアノは自由曲と初見の曲でした。難しい曲が弾けなくても、とにかく日頃からピアノを練習し慣れておくように心がけました。また、幼稚園教諭試験に取り組むだけでなく、笑顔でしっかりと挨拶をするようにし、人間性や保育に向き合う姿勢を大切に試験に挑みました。自分の実力を上げることで、第一志望の幼稚園に合格することができました。

●学校法人光明学園 光明幼稚園  
短期大学部 保育科2年 高木思歩さん  
誠信高等学校(愛知県)出身



### 実習で得た経験を活かすことができた

お年寄りの介護の大変さが理解できた5日間でした。初日は何をしたらいいかわかりませんでしたが、職員の方々がアドバイスをしてくださり、積極的にお年寄りとのコミュニケーションを取ることができました。私は野球部なので、昔甲子園に行ったお年寄りとの野球の話で大いに盛り上がりました。大変だったのは立って行う作業やさまざまな場所の掃除でした。腰が痛くなりましたが、入居している方々に快適に過ごしてもらうために大切な仕事だと実感しました。

インターンシップで多くのことを学ぶことができ、良かったです。

●特別養護老人ホーム  
岩倉一期一會荘 花むすび  
法学部2年 米倉幸希さん  
誠信高等学校(愛知県)出身



## マックスバリュ中部「ちゃんごはん弁当」

### 消費者のリクエストに応じて「コラボ弁当vol.2」企画進行中!

栄養バランスを考えたお弁当をマックスバリュ中部と共同開発・販売企画を進めています。本企画は、2015年度に続き2回目。前回の企画では消費者の方から嬉しいお便りが届き、「今年度もぜひ、名古屋経済大学と共同開発を」とオファーをいただき、実現しました。栄養面や経済面を考慮した献立の作成、販促物のデザインもすべて学生が行っています。



このような産学連携活動を通し、栄養に関する専門知識だけでなく、自分の考えを相手に伝える力や他の人との連携、円滑な人間関係の構築、主体性といった管理栄養士に求められる資質を養ってほしいと考えています。  
(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 上延麻耶)



2018年 1/6(土)~8(月)  
2/15(木)~18(日)  
愛知・岐阜・三重・滋賀県の  
マックスバリュ中部  
100店舗で限定販売!!

### VOICE やりがいを感じたコラボ弁当づくり

今回のコラボレーション弁当作りは使用できる食材に制約がありましたが、栄養価や見た目も良く、幅広い年代の方に受け入れられる献立を立案しようと努力しました。ゼミ生全員で試行錯誤を重ねてお弁当メニューを作った結果、試食会で高い評価をいただくことができ、やりがいを感じました。この経験を今後の就職活動にも活かしていきたいです。  
人間生活科学部 管理栄養学科2年 梶浦佑華さん  
啓明学館高等学校(愛知県)出身

◀ふたを開けたとたん、柚子の香り! ご飯3種とおかず&サラダ6種を詰め合わせた贅沢で楽しい「冬のごちそうバランス御膳」

## 平成29年度 市公民館・味岡ゆうゆう学級(小牧市)

### 大学での学びを地域の皆さんへ

小牧市生涯学習事業の一つであり、60歳以上の方を対象とした「ゆうゆう学級」は、一人ひとりが生きがいのある人生を送るために役立つ知識や技術を習得することを目標に開講され、受講生は通年にわたりさまざまな分野の講座を受講します。

8月10日(木)・24日(木)の2回にわたり本学の調理実習室にて「高齢期の栄養」をテーマにゆうゆう学級を担当させていただき、管理栄養学科の



学生と共に講義と調理実習を実施しました。学生は、人生の大先輩である受講生の皆さんから学ぶことも多くあったと思います。官学連携による地域活動を通し、大学での学びを少しでも地域の皆さんにお伝えしていきたいです。(上延)



### VOICE 生涯学習事業「ゆうゆう学級」に参加

調理実習での献立作成をはじめ、食材の発注・分配や調理器具類の用意など、受講生の方々スムーズに作業を行えるよう、班ごとに作業手順を考えながら準備を進めました。当日は献立の紹介や手順の説明を担当し、とても貴重な経験となりました。今後も、このような活動に積極的に取り組み、授業では学べないことを体得していきたいです。

人間生活科学部 管理栄養学科2年 伊藤汐理さん  
(写真右から2番目)  
香川県立坂出高等学校出身

◀ほうじ茶玄米ごはん、魚と野菜の酒粕蒸し、寒天と夏野菜のさっぱりサラダ、モロヘイヤとオクラのスープ、小豆ヨーグルト



## イベントのお知らせ!

さまざまな体験にステージも  
お楽しみいただけます。  
気軽に  
お越しください!

### ●こまなびフェスティバル2018

子どもと大人が市民講座やサークル活動などで学んだことを発表する集いに、人間生活科学部 管理栄養学科 上延ゼミの学生が参加します。

2018年1月27日(土) 11:00~16:00(学生の参加は15:00まで)  
28日(日) 9:30~16:00

●小牧市市民会館・小牧市公民館

### ●小牧市大学連携講座 お問い合わせ ●こまなびサロン TEL0568-77-8269 小牧のみんで健康寿命! 健康づくりのための栄養と食事

いつまでもイキイキと笑顔で「質の高い生活」を送るための栄養について楽しく美味しく学びましょう。食生活に関する疑問や悩みに管理栄養士がお答えします。

第1回 講演 2018年2月10日(土) 10:00~12:00

●小牧市公民館(視聴覚室) ●講師:人間生活科学部 管理栄養学科准教授 上延麻耶

第2回 調理実習 2018年2月17日(土) 10:00~13:00

●名古屋経済大学(調理実習室) ●講師:人間生活科学部 管理栄養学科准教授 上延麻耶

## 地元小学校・犬山市との連携活動

### 「栄養教育論実習Ⅱ」地元小学校での食育授業

栄養教育論実習Ⅱの授業では、現場での栄養教育を想定して、模擬栄養教育を実施します。学生は、栄養教育の計画から指導案作成、指導内容の発表をグループごとに考えます。今回、地元の小学校のご協力により、学生が実習にて作成した教材を活用した「食育授業」を実践させていただくことが



できました。模擬授業では味わうことができない、子どもたちの反応を肌で感じることができる貴重な体験学習となりました。  
(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 倉橋伸子)

### VOICE 子どもたちとの接し方を学ぶ

今回、小学校で食育授業に取り組み、現場でしか体感できない空気感や子どもたちとの接し方を学ぶことができました。計画・立案・製作・リハーサルなど、さまざまな準備があつてこそ、初めて授業を行うことができるのだと思いました。グループ学習の重要性や伝える大変さなど、新たな経験ができて良かったと思います。

人間生活科学部 管理栄養学科3年 柴田彩花さん  
静岡県立清流館高等学校出身



学生が作成したオリジナル教材を使って食育授業を展開  
児童の質問に笑顔で答える柴田さん

### 朝食クッキングで「朝食の大切さ」を伝える

犬山市が、小学生を対象に8月31日(木)に犬山保健センターにて朝食クッキングを実施しました。昨年度から、地域連携の一環として管理栄養学科の学生が参加しています。今回は22名と多くの児童が参加してくれました。学生は、朝食の大切さについて栄養教育を実施し、その後、子どもたちとともに「おにぎりづくり」を手伝いました。なごやかな雰囲気の中、行政における栄養教育への理解を深める体験となりました。(倉橋)



児童たちと対面し挨拶を交わす 「おにぎりの食材」検討会

### VOICE 子どもたちにも伝わる言葉づかい

私は、昨年もこの朝食クッキングに参加しました。その経験を活かして、今回は子どもたちに伝わる言葉づかいや声の大きさなどに注意し、威圧的にならないように心がけました。その結果、講座を楽しく行うことができ、とても良い経験となりました。また、行政の方々との交流を通して、社会に出て働く自分の姿をイメージすることができ、進路について考える良い機会になりました。

人間生活科学部 管理栄養学科4年 内藤颯さん  
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



おにぎりを作ろう!

### 「給食の献立作成」犬山の学校給食を考えよう

栄養教諭を目指す2年生が、学校給食の実際を学ぶ一環として「犬山の学校給食を考えよう」をテーマに献立作成に取り組みました。学校給食を生きた教材として捉え、地場産物や旬の食材を取り入れ、チームに分かれて献立を試作、検討しました。考案した献立は、学生が市内の栄養教諭や学校栄養職員の先生方にプレゼンテーションし、2月に犬山市内の小中学校で新たに導入されることになりました。(倉橋)



緊張したプレゼンテーションの様子

### 2つの献立を提案

犬山市に感謝の気持ちをこめて  
「ありがとう給食(左)」  
と  
味わってみよう  
「早春の愛知(右)」



### VOICE 地元食材と旬の食べ物のおいさを伝える

私は学校給食を通して、子どもたちに地場産物についての知識や食べ物への感謝の気持ちを学んでほしいという願いを込めて献立作成に臨みました。試行錯誤の中で何度も大量調理の難しさを痛感しましたが、「犬山市で採れた食材や旬の食べ物のおいさを伝えたい」という思いがどんどん強くなりました。これからも、この気持ちを大切に活動に取り組みたいと思います。

人間生活科学部 管理栄養学科2年 前田こはるさん  
岐阜県立東濃実業高等学校出身



## 名経大グローバル人材プロジェクト

### 岐阜県大垣市の企業見学

9月19日(火)、「名経大グローバル人材プロジェクト」の一環として岐阜県大垣市の「企業見学」を行い、日本人学生・留学生25名、教職員6名の合計31名が参加しました。

はじめに有限会社大橋量器にて「升作り」の体験を行いました。学生たちは企業担当者の説明を聞きながら一合研づくりに挑戦し、「自分で使えるものを作れるのはとても良かった」と感想を聞かせてくれました。次に、海外に積極的に事業展開を行っている矢橋ホールディングス株式会社を訪れ、会社説明を受けた後、工場見学を行いました。普段は立ち入ることができない工場内の見学に参加した学生たちは担当者の説明に熱心に耳を傾け、積極的に質問を投げかけていました。今後も「名経大グローバル人材プロジェクト」を通して、こうした体験の場を提供していきたいです。



升作りを体験



採石場を見学



各事業部を見学し、モデルハウス前で記念撮影

## 犬山市子ども大学オープンキャンパス ワールドキャンプ2017

### 留学生とゲームで学ぼう! 犬山のこと

7月30日(日)、犬山市「楽田ふれあいセンター」にて、留学生がごみの分別を学ぶゲームのイベントを開催し、留学生と地域の方々、子どもたちが共にごみの分別方法を学びました。

このイベントは、「犬山市子ども大学オープンキャンパス ワールドキャンプ



集まった子どもたちにゲームのルールを説明

2017」のプログラムの一部として開催し、本学国際交流室とNPO法人シェイクハンスとの共同事業として実施したものであり、ゲームの企画では犬山市役所経済環境部環境課のご協力もいただきました。



ゲーム終了後は子どもたちと「流しそうめん」を楽しむ

## 2017年日本留学AWARDS 2年連続、2度目の「入賞」

8月7日(月)、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて一般財団法人日本語教育振興協会主催「日本語学校教育研究大会」が開催され、日本語学校の教職員が選ぶ留学生に勧めたい進学先を選ぶ「日本留学AWARDS」において、2年連続の入賞を果たしました。



## 犬山学研究センター 設立記念シンポジウム

### 「地域再生と人づくり」の拠点として

10月21日(土)、博物館明治村の聖ザビエル天主堂で、犬山学研究センター設立記念シンポジウムを開催しました。犬山学研究センター長中村真咲教授からセンターの目的について説明があった後、名古屋芸術大学松田憲治名誉教授が「犬山研究の魅力:歴史」、名古屋大学PhD登龍門推進室足立守特任教授が「犬山研究の魅力:自然」、本学経済学部佐藤正之准教授が「犬山研究の魅力:地域政策」をテーマに講演を行いました。また、中村センター長も加わり、「犬山学研究センターの使命」と題してパネルディスカッションを実施しました。



「江戸時代の犬山の経済について」「木曾川のチャート層について」講演者 足立守特任教授 松田憲次氏(名古屋芸術大学名誉教授) (名古屋大学PhD登龍門推進室名誉教授)

シンポジウム閉会後は明治村内の帝国ホテルに会場を移し、大村秀章愛知県知事をはじめ各市町村より来賓の方々をお招きして、レセプションを開催しました。今後も本センターの研究・教育活動を通して、「地域再生と人づくり」の拠点となることを目指して参ります。



博物館明治村「聖ザビエル天主堂」を会場に犬山学研究センター設立の挨拶に立つ末岡仁理事長

## 体験型プロジェクト「犬山の観光戦略を考える」

### 犬山市長に観光戦略をプレゼンテーション

本プロジェクトは、本学が所在する犬山の地域資源(歴史・自然・産業)の魅力を学び、グループで議論した上で観光戦略として発表することを目標としています。前期は、青塚古墳、木曾川沿いの地層、犬山城と城下町、潜伏キリシタン史跡を見学したほか、尾張富士浅間神社の石上げ祭に参加しました。後期には明治村、リトルワールドの見学や犬山焼体験を予定しています。その成果を観光戦略としてまとめ、1月に犬山市長と犬山市観光協会の前でプレゼンテーションを行います。

本プロジェクトは、地域を舞台に楽しみながら実践的に学ぶ場を提供しています。(経営学部教授 中村真咲)

旧三重県庁舎(重要文化財)を会場に「博物館明治村の概要」について講義を受ける

### VOICE 犬山市をPRする楽しさを体験

私は犬山市周辺の出身ではありませんが「犬山の観光戦略を考える」の授業に参加し、犬山の歴史や観光名所など、さまざまな魅力を知ることができました。また、観光客に来ていただけるように、「歴史や観光名所をどのようにアピールしていくか」を考えることがとても楽しいです。

経済学部1年 高野天翔さん 星陵高等学校(静岡県)出身



## 日本初、大学附属マインドフルネスセンターを設立

### 名古屋経済大学マインドフルネスセンター

近年、マインドフルネス瞑想がストレス低減および精神的健康の向上に貢献することを示す研究が急増しています。この瞑想を用いた心理療法の効果は海外でさまざまな検討され、エビデンスが確立しつつあります。また、オックスフォード大学やUCLAなど世界トップクラスの大学がマインドフルネスセンターを設立し、マインドフルネスの研究および実践(患者の治療、専門家対象の研修など)を積極的に行っています。しかし、日本ではマインドフルネスの人気が高まっているにもかかわらず、これまで正式なトレーニングやそれを提供する大学附属マインドフルネスセンターがありませんでした。

今回、本学は日本で初めて大学附属マインドフルネスセンターを設立しました。日本でのマインドフルネスの研究・実践を発展させ、その普及に貢献して参ります。

アスリート用のマインドフルネスプログラム 本学ラグビー部が練習前に実践する「瞑想」▶ (名古屋経済大学マインドフルネスセンター所長 人間生活科学部教授 家接哲次)

